

会 議 録

会 議 名	2024 年度第 1 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開 催 日 時	2024 年 6 月 21 日(金) 午後 3 時から午後 4 時 20 分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館 2 階 大会議室	
出 席 者	委員等	浅井真司氏（委員長）、奥田英子氏（副委員長）、太田真理子氏、畔上美千代氏、三浦美咲氏、鷹見みゆき氏、松下玲子氏、尾方悦子氏
	事務局	庄子教育長、横井教育部長、関生涯学習課長、植田生涯学習係長、長谷川主事 (株)図書館流通センター 島津図書館長、平松サブチーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 2024 年度「東浦町子ども読書活動推進計画」に係る計画書について（公開） 2 2024 年度「東浦町子ども読書活動推進計画（第 4 次）」に係る方針について（公開） 3 その他（公開）	
傍 聴 者 の 数	0 名	
審 議 内 容	◆生涯学習課長 会議成立の報告を行う。 今年度における委員の交代に伴う新委員について紹介する。 ◆教育長 (挨拶) ◆生涯学習課長 委員へ自己紹介を求める。 (委員及び事務局職員が自己紹介を行う。) ◆生涯学習課長 委員長に議事の取り回しを依頼する。 以降は委員長が議事を取り回す。 ◇委員長 次第に従い議事を進める。議題 1 「2024 年度東浦町子ども読書活動推進計画に係る計画書について」を議題として、事務局からの説明を求める。 ◆事務局 資料 1-1 に基づき、東浦町子ども読書活動推進計画（第 4 次）の概要について説明する。資料 1-2 に基づき、2024 年度における各関連機関か	

らの計画書取組内容について説明する。保育園・児童館・子育て支援センター、健康課、生涯学習課、小中学校、図書館の順番に報告を行う。

◇委員長

事務局及び関連機関の報告を受けて、委員の質疑を募る。
(質疑意見なし)

議題 1 に関する質疑応答を締め切り、議題 2 「2024 年度東浦町子ども読書活動推進計画（第 4 次）に係る方針について」を議題として事務局へ説明を求める。

◆事務局

資料 2 に基づき、東浦町子ども読書活動に関する現状について報告する。2024 年度の子ども読書活動推進計画に係る実施方針について説明する。

◇委員長

事務局からの説明を受けて、委員の質疑及び意見を募る。

◇委員

よむらび電子図書館について、子どもたちは学校の電子タブレットから利用が可能とのことであるが、家のパソコンや電子タブレットからでも利用できるのか。

◆事務局

一般利用の ID を利用すれば、家のパソコン、スマートフォン、電子タブレット等ネット環境があれば利用できる。保護者の方も同様である。一般利用 ID の発行は、町内在住、在学、在勤で東浦町中央図書館の利用カード（図書館カード）を持っている方であることが条件である。

◇委員

資料 2P2（5）「よむらび電子図書館の利用について」に記載のある数値について、2023 年度におけるログイン回数 22,917 回のうち、20,213 回が学校利用であるということか。ほとんどが学校利用であるようである。また、東浦町子ども読書活動推進計画（第 4 次）冊子 P23 によむらび電子図書館利用の目標値の記載があるが、2028 年度末の目標値として記載のある 4,000 回は既に達成している回数である。目標数値の見直しが必要ではないか。

◆事務局

2023 年度のよむらび電子図書館利用は、9 割が学校利用である実績となっている。2023 年 11 月より希望する町内小中学校へ学校利用 ID の付与を開始し、町内すべての小中学校より利用依頼をいただいた。学校の朝の読書タイムや調べ学習で活用いただいている。また、冊子の数値については、本計画冊子の策定時においては、小中学校への利用 ID 付与は開始前であり、よむらび電子図書館の利用率が低く、記載のある目

標値となっている。しかし、昨年度の 11 月からよむらび電子図書館の学校利用が開始し、急激に利用率が上昇し計画書の目標値をすでに達成したため、計画書の目標値が現状にそぐわない内容となっている。そのため、こちらの目標値については再設定が必要である。

◇委員長

議題 2 について質疑を締め切り、議題 3 「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

議題 3 は特になしことを報告する。

◇委員

東浦町中央図書館の提供する電子図書館サービスが町内小中学校の電子タブレットと連携しているという点は他市町と比べて、東浦町の特徴であるといえる。この点をもっと東浦町の読書活動の目玉として周知して、アピールしていくとよいのではないか。よむらび電子図書館の使い方について出前講座として、中央図書館の職員が希望のあった学校へ出向いて説明をする取り組みもあるため、そのような取り組みも踏まえた実施計画とするとよりよいのではないか。いろいろな取り組みを行っているため、それらの取り組みの効果が結果として表れると良い。中央図書館が行っている取り組みの情報発信が必要である。

◆事務局

今年度についても、出前講座としてよむらび電子図書館の使い方を学校教職員向けにお伝えするメニューを設けている。学校から希望があれば、東浦町中央図書館の職員が学校へ出向いて説明するため、このような事業について周知を図っていく。

◇委員

PR はどのような方法を想定しているか。

◆事務局

今年度から毎月町長が記者発表を行っているため、PR 事項があれば、情報発信することもひとつの手段である。ただし、記者発表では旬な情報を扱うため、情報発信するタイミングについては検討が必要である。

◇委員

よむらび電子図書館が学校で利用開始したことについて、知らない保護者もいるのではないかと。学校から保護者へ向けて発行される学校たより等で電子図書館の図書館と学校の連携についてお知らせすると、保護者へも情報が届きやすくなるのではないかと。図書館サイドからだけでなく、学校サイドからも情報発信するとより周知されると思う。

◇委員

子どもを持つ保護者の立場であるが、電子図書館の学校利用について情報を知らなかった。子どもたちは知っていることであっても、学校であった出来事や情報のすべてが保護者へ届くわけではない。図書館がせっかく色々な取り組みを行っているのに、その情報が保護者まで届かないのは、もったいないと思った。

◆事務局

学校が運営しているホームページを使って情報発信することも一つの手段である。

◇委員

マイブックに関わることであるが、町内小中学校で、紙媒体の本と電子書籍の2種の媒体の読書ができることによって、読書率の数値カウントも紙媒体、電子書籍のそれぞれでのカウントが必要になったのでは。手に取って活字に触れた紙媒体による読書、電子図書館による読書の棲み分けは、今後どのようにしていく方針であるか。

◆事務局

基本的には、紙の本に触れて読書することを第一としている。ただし、読書の選択肢のひとつとして、電子図書館も利用できるという方針でいる。図書館としては、電子図書館は紙媒体の本へつなげる読書への入口として利用していただいてもよいと考えている。電子図書館を利用して、そこで得た情報をもとにその分野へ興味を持ち、紙の本を読んでより深く新たな情報を得るという傾向が先進的な図書館から報告されている。

◇委員

承知した。

◆事務局

例えば、図書館より「電子図書館の学校利用」について保護者向けのおたよりを発行すれば、それを「totoru（学校－保護者間連絡ツール）」で各学校へ情報を配信することができる。

◇委員

積極的に電子図書館を利用する学校もあれば、利用にハードルを感じている学校もあると思う。そのため、学校だよりでも電子図書館について記載のある学校もあれば、記載のない学校もあるだろう。すべての学校の保護者に同じ情報が流れると、情報漏れがなくなってよいのではないか。

◇委員

待ち時間で自分の子どもへ家庭用の電子タブレットを渡すことがあるが、動画を視て過ごしてしまう。今日の会議で電子図書館が利用できること知ったため、これからは、動画視聴よりも、電子図書館での読書を薦

めてみたい。このような使い方をすると、より電子図書館が身近に感じられる。電子図書館が身近に感じられると、中央図書館の利用も身近になると思う。保護者に向けて情報が発信してもらえると嬉しい。

◇委員長

よむらび電子図書館の学校利用は、各学校で行われているが、保護者にまで周知できていない学校もあることが現状である。図書館からよむらび電子図書館の学校利用について、保護者向けのおたよりが発行されれば、「tetoru」を使ってすべての小中学校の保護者へ情報発信ができる。マイブックに関わる読書率カウントの件については、基本的には、手元に本を置いておく、というのが定義であるため、多読書のための数値カウントは、現状学校図書館で借りた紙の本の数値のみで抽出している。電子図書館の貸出率は、学校では抽出ができないため、現状では、学校図書館で貸出した本を対象とする。

◆事務局

補足になるが、学校から初回の学校利用申請があったタイミングで、よむらび電子図書館の学校利用についてお知らせする保護者向けの通知を、生涯学習課から既に通知済みである。ただし、その通知を学校から保護者へ渡しているかは、学校によって対応が異なるようである。本日もご意見いただいたように、すべての保護者へ情報提供できるよう、「tetoru」での情報配信についても検討する。

◇委員長

他の意見がないことを確認し、議事の終了を宣言する。

◆事務局

事務連絡として、次回の会議は3月に予定していることを案内。挨拶をして会議の終了を宣言する。